

原稿募集中!

-----編集後記-----

◇京都大学の平島氏に本誌への執筆をお願いしましたところ、御多忙中にもかかわらず快くお引き受け下さり、超高压変成岩について詳しい解説をして下さいました。また、気象研究所の浜田氏には、7月ピナツポ火山の調査に行かれて、災害現場を撮影した貴重な写真を提供していただきました。ここに記して厚く御礼申し上げます。

◇雲仙岳の火山活動はとどまるところを知らず、9月15日には6月3日を上回る噴火がありました。地磁気などの観測によると、地下でのマグマの活動は依然活発であるとのこと、不安な毎日を過ごされている地元の皆さまに心からお見舞い申し上げます。雲仙岳の火山活動に関する情報として、本誌8月号でお知らせした地質標本館緊急特別展「雲仙火山—1991年噴火と活動史」は、その後の新しい情報を加えながら引き続き展示中です。また、本誌では7月号の速報に始まり、8月号の表紙、口絵などに続いて今月号では火砕流の立体写真を口絵に掲載しました。立体写真は平面写真で判別しにくい火砕流の生々しいつめあとを浮き彫りにしています。

◇最近、地質ニュースの刊行が遅れています。その原因は色々ありますが、寄稿いただいた原稿の中には不備なものがあり、査読やレイアウトに手間取っていることも事実です。8月号の編集後記では佐藤副委員長が編集の舞台裏の苦労話に触れていましたが、編集委員会委員、事務局一同刊行日の挽回に努力しておりますので、これから投稿下さる方々にも「地質ニュースに寄稿される方へ」の事項については最低限守っていただき、図、表はそのまま使用できる鮮明なものを出していただきたく切にお願い申し上げます。

-----尾上 亨 記-----

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて字として1下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース編集委員会

委員長: 佐藤二郎
 副委員長: 佐藤興平・磯部一洋
 幹事: 宮崎光旗・尾上 亨
 委員: 三田直樹・岡村行信・鹿野和彦・山口 靖・
 金沢康夫・佐藤岱生・松本則夫・滝沢文教・
 松浦浩久

事務局: 総務部業務課広報係(山口秀樹・斎藤賢二)
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地 質 ニ ュ ー ス

第446号 1991年10月号
定価 ¥700 千実費

1991年10月1日 発行

編 集

発 行人

発 行 所

工業技術院地質調査所
 林 久 雄
 株式会社実業公報社
 東京都千代田区九段南4の2の12
 〒102
 Tel. (03)3265-0951 (代表)
 振替口座 東京1-32466
 麹町局私書箱第21号
 印 刷 奥村印刷株式会社

©1991 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、
 八重州ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋
 堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で
 注文してください。